

# 街路樹

## 学力向上に向けて ②6

～ 「話し合いにならない」のは何故? ～

とある学校。「がんばれ!いわきっ子の1234」を前にして…。  
先輩教師A「どうしたの?難しい顔をして」  
後輩教師B「この『つなげて話そう』って、どういう意味なんですかね。間をおかずに、次々と活発に発表するってことですか」  
A「そうじゃないわよ。これは前の意見と関係づけて話そう、ということよ」  
B「例えばどういうことですか」  
A「～さんと同じで、とか、～さんに反対で、という言い方はよくしているでしょう?その他にも、同じ資料についてですが、話題を変えて、とか、いろいろあるわね」  
B「ああ、そういうことですか。でも、いちいちそんなことを考えて発言させていたら、子どもたちは面倒がって話さなくなると思うんですけど」  
A「そうねえ…。私の場合だと、大抵はつなぐことを意識させて話させているけど、話すことそのものを楽しませたい時や、アイデアをたくさん出させたい時なんかは、自由に話させているかな」  
B「なるほど。学習場面によって使い分けるってことですね。ところで、つなげて話させるのは何のためなんですかね」  
A「B先生は、子どもたちが、一方的な発表の繰り返しに終わってしまっ、話し合いにならなかった経験はない?」  
B「…しょっちゅうです」  
A「そんな時に、つなぐことを意識させるといいのよ。発言をつなぐということは、論理的思考力を働かせるということなの。今話題になっていることが明確になるし、子どもの意見のポイントも分かって、板書もしやすくなるわよ」  
B「あっ!だからA先生の板書は、いつもすっきりしてるのか…」  
A「まずは、話し合いを成立させたい場面で、つなぐことを意識させたらどうかしら」  
B「そうですね。早速やってみます!」

## お知らせ

多くのご要望にお応えし、**資料室の教科書を貸し出しの対象としました。**ご利用をお待ちしています。(なお、教科書センターのものは、従来通り閲覧のみとなります。)

## 授業改善・指導技術 ①6

～ 評価を指導に生かす その1 ～

評価は、学習の成果を把握し、価値判断をするためだけのものではない。次の学習活動や指導の改善に生かされてこそ意義がある。 (「よい授業」のすすめ P23参照)

～ 教師にとっての指導と評価の一体化 ～

- ① 子どもの実態を把握し、学習指導計画に生かす評価
  - 学習経験や資質・能力、興味・関心などにより、変更と改善を加えていく柔軟性が必要。
  - レディネスの形成度を把握…事前テスト、質問など。
- ② 次の指導に生かす学習活動の過程での評価
  - 日常の授業で子どもの学習状況を読み取り、評価することによって、共感し励ます、説明を加える、発問して気付きを促す、やって見せたり一緒に行うなどの適切な指導の手立てを行うことができる。
- ③ 学習計画や指導方法に生かす総括としての評価
  - 単元終了時などに、テストによって成果を把握するなど。
  - 子どもや保護者へ学習成果を伝えるための重要な情報。
  - 子どもへの伝え方を工夫することにより、次の学習意欲を高める材料。
  - 教師自身の指導の反省を促し、指導方法や指導計画改善に活用できる。

## 学級経営のヒント ①5

～ 魅力ある学級をつくる担任 ～

- 1 **魅力ある教師になること**  
人間とは、だれかを模倣して生きていく動物である。最近の研究では、模倣対象を持つことが脳科学的にも意味があるといわれている。模倣の存在となるようにしていきたい。
- 2 **ルールとふれあいのある学級にすること**  
社会環境が集団を醸成しづらくなっている。学級も社会の小集団の一つなので、意図的にルールとふれあいを組み込んでいく必要がある。
- 3 **見えるものに囚われず、見えないものを見ること**  
問題が生じているときは、人間の心理として「取り繕おう」とするので、見えないのではなく、見えないようにしていることがある。  
結語…こんな教師になりたいという教師としての中心軸を作り、自分をもっとほめて力強く歩みつけていただきたい。  
—大友秀人 北海商科大教授(指導と評価2009.9)より引用—

## 研修の感想・講義紹介

### 教科指導研修③(授業改善講座)の感想より

- 普段何気なく話し合いをさせていたが、「話し合う必要性を子どもたちは感じているか?」という話にはっとした。(小・S)
- 授業の中で習得と活用を一体化した活動をしていけるように努力したいと思いました。(小・T)
- 「何か一つ変えると授業のすべてが変わる」ということが一番印象にのこりました。(小・Y)
- 「遅れがちな子どもほど、先生の言葉・気配り・心配りを敏感に感じる」という言葉が印象に残りました。(小・U)
- 「考えを書かせる大切さ」について学びました。(中・K)
- 子どものノートの字や書いている時の姿勢や表情をしっかり観察し、そこから学び方を教えていく手立てになるということも参考になりました。(中・W)

### 初任者研修「授業研修③」講義より

～ 板書の仕方とその工夫 ～

- 1 **板書の意義** (授業はライブ)
    - 教育機器が豊富な時代だからこそ、板書の機能を大切に。
    - 板書の機能として大切なのは、臨機応変に素早く対応できる点。
      - ① 学習内容の要点を提示する。
      - ② 記号・図形などによる重点化を図る。
      - ③ 完成された学習内容の提示よりも、プロセスの提示に意味がある。
  - 2 **板書の基本的な事柄**
    - ① 基本的には、めあて→学習内容→まとめに関する内容がある。
    - ② 問題解決の方法・手順を書く。(見通しをもたせる板書)
    - ③ 既に板書した子どもの意見を、色チョークを用いたり、記号・矢印・囲みを加えたりして、分類・統合する。(整理する板書)
- ※「よい授業」のすすめ P25(発問と板書)P26(板書のポイント)参照